

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《実社会で働く人々の姿と自己の将来》
- 2 単元名 『Denim de Dreamプロジェクト～どんなことを伝えたい?～』 (全25時間=実施時期: 4月~7月)
- 3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

井原で働いている人多たちの思いを知り、受け止めることで、仕事についてもっと知りたい、もっと伝えたいという気持ちを育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		前年度の活動を発表することで、自分たちに必要(知りたい)な事柄について考える。	身近な人にインタビューする。	パンフレットに載せたい内容を整理する。	自分たちの取組について校内でプレゼンテーションをする。
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> (郷土愛と当事者性)	「夢をかなえるためにはどうすればよいのか。」という思いに気付くことができる。			
	<b>やり抜く力</b> (忍耐と向上心)		年間を通した計画を短冊を使って立てることで、見通しをもつことができる。	パンフレットに載せたい内容を選ぶことで、インタビューの内容、方法を整理し、パンフレット作製の方向性や位置づけを決めることができる。	自分たちの取組について相手に分かりやすい表現方法でプレゼンテーションをすることができる。
	<b>まき込む力</b> (発信と協働)	昨年度とは違った視点で、パンフレットを作りたいと考えることができる。			
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>	昨年度5・6年生作成「ゆめかな」パンフレットを4・5年生に発表することを通して、今年度の課題へ気付けるようにする。			
	<b>ひと</b>		児童にとって身近な存在である先生方に自由に質問することによって、自分たちが知りたいこと、伝えたいことを明確化できるようにする。		外部委託の冊子にするため、校長先生、教頭先生にパンフレットの内容についてプレゼンテーションをする。
	<b>しごと(こと)</b>				
<b>アウトプットの工夫</b>		プレゼンテーション 短冊計画			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

国語:言葉の意味が分かること(言葉の広がり)  
わたしたちにできること

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《実社会で働く人々の姿と自己の将来》
- 2 単元名 『Denim de Dreamプロジェクト～教えて！井原で働く人の魅力～』（全35時間＝実施時期：4月～2月）
- 3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

集めた情報の中から、分かりやすく、自分たちの思いが伝わるようなパンフレットにするためにはどうすればよいかを考え、まとめていく。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

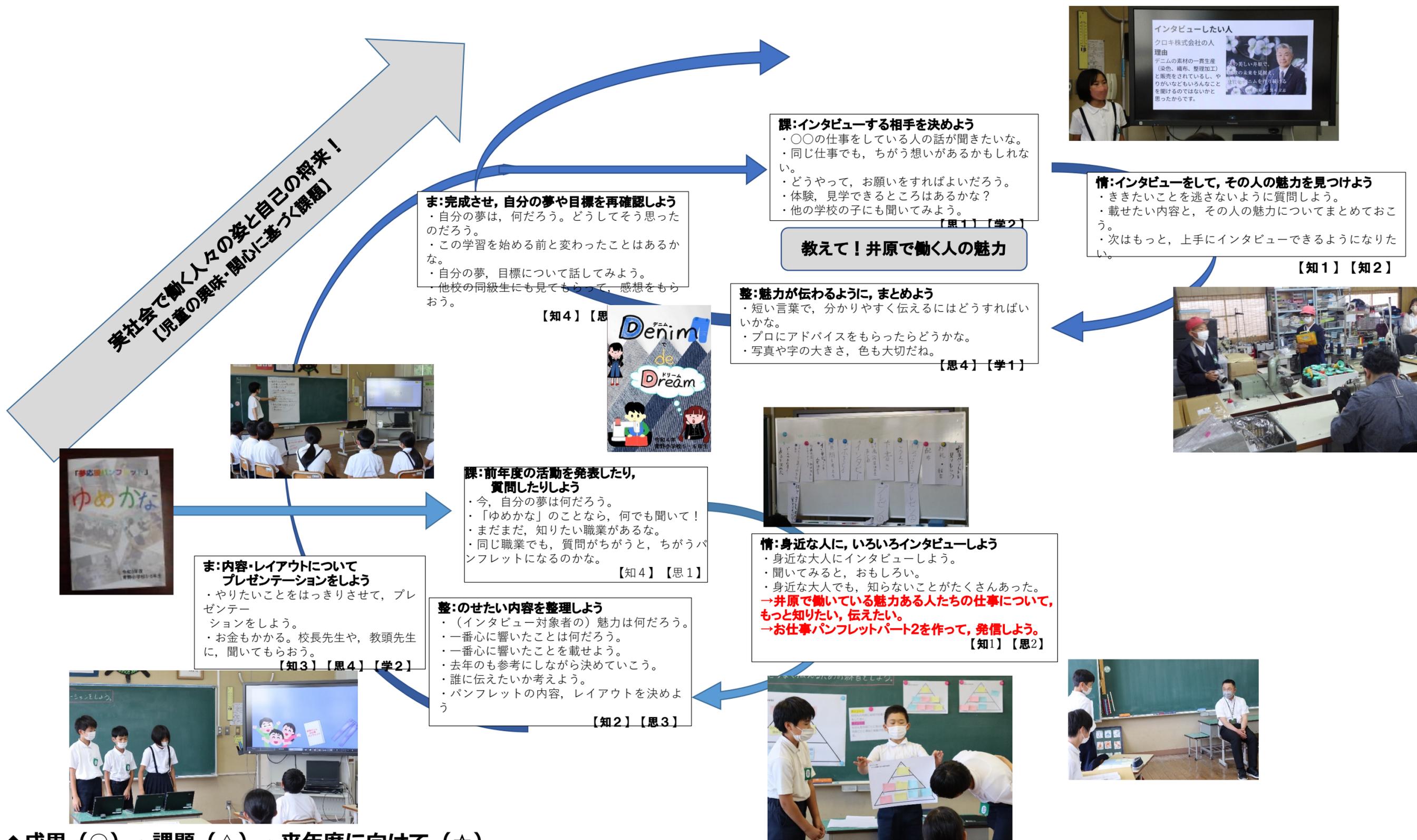
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		インタビューする相手を決めよう	インタビューをして、その人の魅力を見つけよう	魅力が伝わるように、まとめよう	完成させ、自分の夢や目標を再確認しよう
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> <small>(郷土愛と当事者性)</small>	井原デニムに関わる仕事について調べ、興味に応じて取材対象を決める。	井原デニムに関わる仕事をさえている人について調べ、取材することができる。	自分が感じた働いている人や製品についてまとめることができる。	
	<b>やり抜く力</b> <small>(忍耐と向上心)</small>		初めて出会う大人に対して臆さず、自分たちの思いを話したり、仕事について質問したりできる。	より分かりやすいパンフレットにするためにはどうしたらよいか考えながらまとめることができる。	
	<b>まき込む力</b> <small>(発信と協働)</small>	取り上げたい人や会社について、納得してもらえるように紹介することができる。		デザインをプロの目線から見ってもらうことで、新たな視点を取り入れ、より分かりやすいパンフレットにすることができる。	市内同学年の児童に配布し、フィードバックをもらうことで、夢や目標について、共に考えることができる。
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>	パンフレットで紹介する人を決めるためにプレゼンにまとめる。	取材対象を事前に調べる。	パンフレットにのせる内容を取捨選択できるようにする。	
	<b>ひと</b>	パンフレットの作り方をプロの立場から教えてもらう。	働いている方に質問をする。	自分たちが伝えたいことが伝わるパンフレットの構成になっているのかプロの目線から見ってもらう。	パンフレットの関わっていただいた方を招き、お礼の会を行う。パンフレットを井原の同世代に配布し、感想を聞く。
	<b>しごと（こと）</b>	井原デニムに関わる仕事について調べ、興味に応じて取材対象を決める。	実際に職場に行き、働いている様子やその場所を見学する。		
<b>アウトプットの工夫</b>		パンフレット プレゼンテーション ページネーション			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

井原デニムに関わる方5名 パンフレットづくりのプロフェッショナル  
井原の同世代

◆単元のねらい「井原で働く魅力ある人々について調べる活動を通して、仕事をしていく中で様々な努力や仕事にかける思いがあることに気付き、調べた人の努力や思いを受け止め、自分の夢や目標につなげようとする。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 子どもたちは、パンフレット作りを通して「夢」について考えることができた。夢についての考えを広げることができた児童もいた。
- 子どもたちが「自分たちで作上げた」という思いをもつことができた。計画から子どもたちが意思決定できたことが大きかった。
- 校外の大人をプロフェッショナルとして招き、指導してもらうことで意欲が低下せず方向修正ができた。
- △課題設定の場面では、意思決定が子どもたちでできなかった。
- △考えを1つにまとめるとき、状況に応じた話し合いの視点を上手に提示する必要があった。
- ☆人づくりネットワーク・Ancs・井原市民力を効果的に取り入れ、活動を行う。